

“これからの議会をどう改革していくのか”

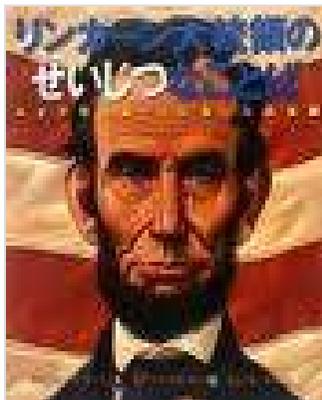
問われる自治体議会のあり方

名古屋市長が主導する市議会リコール署名、阿久根市長による議会の招集拒否と専決処分連発など、自治体議会と首長の「紛争」が相次いでいる。議会における首長支持派をつくるためのローカルパ〜ティエの結成や、議員定数と報酬の大幅削減を首長選挙のローカル・マニフェストに盛り込むなどの展開も目につく。話題性の高い首長が注目を集めて展開される「劇場型」の事件を通して、あらためて自治体議会のあり方が問われているのである。そして、首長側の極端な政治手法に対しては批判的な目も向けられているが、基本的には議会を「悪者」と見る者が多いのが実態ではないだろうか。

また、地方自治法の抜本改正に向けて、橋下大阪府知事から、複数の議員を在職のまま副知事・副市町村長や行政の幹部職員に任命し、「内閣」を組織して執行権の運用の一端を担わせる「議会内閣制」の導入が提案されている。議会が首長の政策の実現を、阻止したり修正したりすることに対して、自分たちは責任をとらない安全圏に身を置きながら「足を引っ張っている」という反発が、その提案の背景にはある。解決策として提案されている制度についての賛否はともかくとして、議会のあり方に対するこの評価については、共感を持つ人が少なくないと思われる。（月刊『自治研』2010年10月号に掲載された廣瀬講師の文より）

[資料代 500円 会員無料]

国民の
国民による
国民のための政治？



自治研センター 講演会のご案内

- 日時：2011年2月12日（土）15：30～
- 会場：労働者福祉センター3階
千葉市中央区千葉港4-4

＜基調講演 講師紹介＞

廣瀬 克哉（ひろせ かつや）氏
法政大学法学部教授

1958年、奈良県生まれ。東京大学大学院法学政治学研究科博士課程修了後、法政大学助教授に就任。1995年より現職。自治体議会改革フォーラム呼びかけ人代表。自治体学会運営委員。専攻は行政学、自治体学。著書に『「議員力」のススメ』（2010年、ぎょうせい）、編著に『変えなきや！議会―「討論の広場」へのアプローチ』（生活社、2007年）、『議会改革白書09年版』『議会改革白書10年版』（いずれも生活社）など多数。



★お申込は自治研センターへ（電話 043-246-0511 FAX 043-246-3918）

☆2月7日（月）までに上記ファックスで結構です。

- 主催：千葉県地方自治研センター
- 後援：自治労千葉県本部
- 後援：連合千葉

「自治研千葉」 創刊号～第3号在庫案内

2010年3月（創刊号）

- ・発刊にあたって
- ・政権交代と公共サービスの再考
- ・連載① 数字で掴む自治体の姿
- ・松戸市パワハラ訴訟の顛末と問題点
- ・連載 「房総の自治鉦脈」
- ・茂原市夏の風物詩

理事長	井下田 猛
東大名誉教授	大森 弥
副理事長	宮崎 伸光
弁護士	小川 寛
理事長	井下田 猛
茂原市	鶴沢 照光



自治を生きとせ！と叫ぶ方々の必携！

2010年6月（vol.2）

- ・巻頭言
- ・検証！ 民主党政権による社会保障の行方
- ・千葉県一般会計当初予算について
- ・千葉市の平成22年度予算について
- ・連載 「房総の自治鉦脈」
- ・連載② 数字で掴む自治体の姿
- ・歴史的資源を活用したまちづくり
- ・公共の担い手 NPO 法人子育て支援グループハミングちば

理事長	井下田 猛
淑徳大学准教授	結城 康博
県会議員	天野 行雄
市会議員	三瓶 輝枝
理事長	井下田 猛
副理事長	宮崎 伸光
香取市	吉田 博之



2010年10月（vol.3）

- ・巻頭言
- ・2010年度の地方財政計画と千葉県の財政状況
- ・銚子市立病院 1年8ヶ月ぶりに再開
- ・小さな自治体の継続に向けて
- ・北総鉄道運賃値下げと地方自治
- ・公共の担い手 トータル介護サービスアイ
- ・連載 「房総の自治鉦脈」第3回
- ・連載③ 数字で掴む自治体の姿
- ・「東洋のドーバー」銚子屏風ヶ浦

副理事長	佐藤 晴邦
自治総研	高木 健二
銚子市議	加瀬 庫蔵
酒々井町議	川島 邦彦
鎌ヶ谷市議	藤代 政夫
代表	大塚美知雄
理事長	井下田 猛
副理事長	宮崎 伸光
銚子市	平野 寛



バックナンバーの申込は当研究
 センターまで（一部頒価五百円）

**千葉県地方自治
 研究センター**
 千葉市中央区千葉港 4-4
 労働者福祉センター5階
 電話 043-246-0511
 ファックス 043-246-3918